



週報

Rotary
OITA JOSAI, 2720



会長：村上智貴
幹事：伊藤秀海

国際ロータリー会長
ジェニファー・ジョーンズ
第2720地区ガバナー
堀川 貴史
大分第4Gガバナー補佐
藤田 千克由



IMAGINE
ROTARY

大分城西ロータリークラブ

クラブ スローガン「ロータリーを日常に」

地区スローガン

ロータリーはつながりで溢れている
～友情いっぱい仲間となにかよいことをしましょう～

<四つのテスト> 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

2022-2023 第26回例会

1月18日 No.1506

職業奉仕月間

◆ 本日のプログラム

12:30 点 鐘

ロータリーソング「われらの生業」

ゲスト・ビジターの紹介 村上 智貴 会長

会長の時間 村上 智貴 会長

出席報告及び幹事報告 伊藤 秀海 幹事

ロータリー情報 R情報担当委員

委員会報告 各 委 員 会

スマイルボックス 親 睦 担 当

13:00 年男年女の卓話②

衛藤祐介会員 / 安東哲也会員

◆ 今週のお祝い

- 配偶者誕生日 神野寛明会員 展子(のぶこ)夫人 1月24日
- 会員誕生日 芳崎一郎会員 1月19日
- 松田尚美会員 1月22日
- 木下光一会員 1月23日

◆ 幹事報告

- 元会員の小野日隆氏より「あわのさま72号」と「てんじんさま37号」が届いています。
- 皆様のお手元に「地区大会登録申し込みのご案内」を配布しております。メールでもご案内しておりますが、回答期限は2月17日(金)です。期限内に事務局にご回答お願い致します。
- トキハお取組み先様・従業員限定 2023年お買物促進キャンペーンへのご協力をお願い致します。

◆ ゲスト・ビジターの紹介 (1月11日)

- ゲスト ユン イェジンさん (米山奨学生)

◆ 今後の例会予定

- 1月25日(水) 年男年女の卓話③
- 2月 2日(木) ガバナー公式訪問
- 2月 8日(水) 新入会員の卓話
- 2月15日(水) 職場例会「うみたまご」
- 2月22日(水) 夜例会 新入会員歓迎会

● 職業奉仕スピーチ

(1/18)工藤 (1/25)岩尾 (3/1)佐藤(憲)

会長の時間 (1月11日)

会長 村上 智貴

あけましておめでとうございます。年が改まるにあたって、初心を振り返るということで今年度のテーマについて触れてみます。大事なことは何回も言います。

国際ロータリーのテーマは「IMAGINE ROTARY」ということで、ロータリアンに大きな夢を抱き・その実現のために行動することを求めています。行動するかどうかを決めるのは私たちであるということです。「一年の計は元日にあり」といいますが、皆さんはどのような計画を立てましたでしょうか？ロータリーに在るとリーダーシップを高めていくために戦略や計画を立てて実行し、評価してまた次の行動に繋げるという思考がイヤというほど鍛えられます。

2720地区のスローガンは、「ロータリーはつながりであふれている～友情いっぱい仲間となにか良いことをしましょう～」です。半年間で皆さんはロータリーの仲間と何か良いことをしましたでしょうか？卓話で学んだことを周囲の人々にも広めたり、寄付をしたり、ロータリーの友人知人を増やして奉仕の機会とする「親睦」も良いことの一つに挙げられます。本日は早速、新入会員が増えるということで、もう良いことをしていることとなります。

大分城西のテーマは「ロータリーを日常に」です。いつもロータリーの規範に照らして考えると、コロナ前のように戻ると受け取ってください。ロータリーで勉強したことを日常に取り込むというのもその一つで、今日から始まったデジタル週報に関わる手法もぜひ皆さんの日常に取り入れていってください。パワーポイントというソフトの中にワードやエクセルで作った情報と写真を貼り付けているだけです。色々なレイアウトにできます。実は私自身、これを縦長の配置にできることを知ったのは今回が初めてです。PDFファイルにするところまではできますが、これをQRコードにする方法を知らないの、それも覚えて本業の方で何か活かさないかと考えています。

学びは色々なところにあるのでそれを拾うか、自分の役に立つかどうかの判断まで含めてロータリーではないかと私は思っています。

2023年はうさぎ年ですので、皆さんにとって飛躍の年となりますように願っています。

新入会員歓迎の挨拶

会長 村上 智貴

ようこそ大分城西ロータリークラブへ。

入会当初はロータリークラブに入ったと周りの人に話をすると「きは「どんなところ？」と聞かれると思います。その時にロータリーは奉仕団体だと表現されます。よく誤解される事柄として、この奉仕の全てが無償である必要はありません。

奉仕という言葉は英語のserveを翻訳する際に使用される言葉で、必ずしも日本語の奉仕という言葉が持つ意味と完全に合致するわけではありません。例えば、お米も稲も白ごはんも英語ではriceと言ってしまうように、serveに色々なニュアンスがあるけれども日本語にしまえば奉仕になっているということです。世の中に横行しているカタカナ羅列表現に倣って、サーブ団体と名乗っても許してもらえないかもしれませんが、相手に伝えたいという感情はそこにはないように受け取られます。例会に出席してロータリーを知り、早く自分の言葉で説明できるようになると嬉しいです。

新入会員の紹介

★岩本 和也 会員 (パーソナルジムSHINE 代表)

職業分類：パーソナルジム

★首藤 哲也 会員 (尚ジェットコーポレーション 代表取締役)

職業分類：レストランチェーン経営

以上2名の入会式を執り行いました。

出席報告	1月11日					1月6日			
	会員総数	出席者数	出席率	ゲスト	ビジター	会員総数	出席率	補填数	修正出席率
	32名	30名	93.75%	1名	0名	30名	89.66%	0名	89.66%

編集担当	1月 松田 尚美
	2月 武居 光雄
	3月 園田 哲史

例会日 毎週水曜日 12:30～13:30 事務局 〒870-0021 大分市府内町トキハ会館4階 Eメール oitajosairc@mist.ocn.ne.jp
 例会場 ホテル日航大分 オアシスタワー TEL 097-532-0611 FAX 097-532-8386 ホームページ http://oitajosairotaryclub.com

第7回理事会議事録(2023年1月11日)

1. 今後のプログラム

- 1/ 6 新春合同例会
- 1/11 年男年女の卓話①(2名)
- 1/18 年男年女の卓話②(2名)
- 1/25 年男年女の卓話③(2名)
- 2/ 2 ガバナー公式訪問
- 2/ 8 新入会員の卓話(4名)※3名に変更の可能性あり
- 2/15 職場例会 大分マリンパレス水族館「うみたまご」
- 2/22 夜例会 新入会員歓迎会

2. その他

- ①2/2 ガバナー公式訪問は木曜日開催であるため、特に新入会員に対してはカウンセラー等から連絡を行っておいた方がよい。
- ②職場例会 大分マリンパレス水族館「うみたまご」
11:45 現地集合、13:30 終了予定
来週の例会にて出欠確認及び1月末以降に昼食の希望を各会員に確認する予定
- ③週報について
次年度より本日の週報をイメージして作成する。QRコード作成時には、ホームページに掲載した週報のURLを使用する。
- ④地区大会について
新入会員も増えたため地区大会の内容等を会員に再周知する。「原則、全員参加」であるが、開催地が熊本であることを考慮し、4月15日(土)本大会についてZoom視聴が可能か(そもそもZoom対応を行うのか)地区に確認する。

ロータリーの友の紹介1月号

佐藤 憲幸 会員

P10 ロータリーとは ・ ロータリーの目的

P11 職業奉仕月間 特集

私のプライド、その仕事

あなたが「つuckingている」ものは

スマイルボックス

◎村上 智貴 会員(2口)

2名の新入会員の入会式をお祝いしてスマイルします。

◎廣瀬 舜一 会員(1口)

2月11日皇記2684年の建国記念日をホルトホールで行います。講師は保守講談の第一人者 門田隆将さんで「歴史の岐路に立つ日本〜私たちは今、何をすべきか〜」のタイトルで迫力のある有益なお話が聞けます。入場料は無料ですので是非お越し下さい。日本の建国をお祝いする県民の集いが主催します。

◎佐藤 憲幸 会員(1口)

誕生日忘れてました。記念に1口申告いたします。

年男年女の卓話①

●6回目の年男

岩尾 隆志 会員

今年は、卯年。6回目の年男になりました。

ロータリーには38歳で入会しましたので、ロータリアンとしては3回目の年男です。

私の父は、6回目の年男の3月15日に71歳で逝きました。もうすぐ父の歳を越えます。感慨深いものがあります。

私は、昭和26年(1951年)に、熊本市で生まれました。父は熊本国税局勤務でしたが、中途退職して大分へ帰り、税理士を創業しました。私は小2で荷揚町小へ転入、その後碩田中、大分舞鶴高校を経て1970年に一橋大学に入学しました。その年は、上京してのカルチャーショックに加え、万博、よど号事件、三島事件などが重なりショックの連続でした。

大学卒業後、会計士試験を経て、監査法人勤務後、29歳(1981年)で大分へ戻り、父の事務所で税理士、会計士の仕事を始めました。42歳のときに父が死去、事務所を承継しました。

そろそろ人生も終盤に近づいて、どういう風に仕事や人生に始末をつけようかと考えることが増えてきました。「人生も飛行機も着地が一番難しい」と本田宗一郎も言っていたようですが、友人やお客さんからもそういう相談が増えてきました。

私の職業は、企業や事業者の「利益」にかかわりの多い仕事です。ときには私利私欲のかたまりのようなお客さんに遭遇することもあります。論語では「利を見ては義を思ふ」と説かれており、利益を求めるにあたっては、常に「義」を念頭に置くことが必要であるとしています。コンプライアンスだけではなく、併せて高い倫理性を備えることが「義」に繋がるのでしょうか。この教えは、ロータリーの職業奉仕にも通じるものだと思います。

古希を過ぎていまだに「利益」にかかわる日々を送っています。高度成長や便利さの向上が善であり、低成長や不便さは悪であるという価値観も見直す時期が来ている気がします。みんなが幸せであ

ることが大事です。超我の道はつくづく陰しいものです。

(付録) 1951年生まれ(同級)の人たち

忌野清志郎、桃井かおり、柴田恭兵、小林薫、藤圭子、
天地真理、笑福亭鶴瓶、浅田次郎、長州力

●年女の卓話

伊東 真知子 会員

今年は卯年で私は6回目を迎えました。人生まさに矢の如しとつくづく実感しております。

私は茶の湯を趣味として楽しんでおりますが、昨日社中の初釜が行われました。私は年女ですので、客の中で一番と位置づけられている正客でした。そうして籤がありまして、松竹梅の当たりくじが三枚だけ入っているのですが、松を引き当てまして干支の抹茶茶碗を頂きました。春から縁起が良いのですが、どうも私はジャンケンやくじ引きなどに強くてそこで運を使ってしまう傾向にあるようですので、今年せっかく年女ですが、運がいいといいなあと思っております。

私は1951年別府市で生まれました。

父は元々博多の出身でございますが、祖父が当時の九大温泉研究所所長として別府に赴任しましたので、中学から父は別府中学でございます。1951年、父はその温館の無給医局員でございました。祖父の建てた別府西野口の家は米軍に接収されており、今のホテル白菊の前にあるシャンデールというケーキ屋さんがありますが、その場所が生家でございます。

敷地内に進駐軍の家族が暮らしておりました。裏がいまの別府公園になるのでしょうか。その頃は林が広がっており、米軍のキャンプがあったと思います。

私は小学校一年生までの幼児期をまだ敗戦の色濃い別府の街で過ごしました。別府の街は賑やかでとても粋な町だったと思います。その後、父が大分市に診療所を開業し私も荷揚町小学校に転校したというわけです。

一回りした1963年は荷揚町小学校6年生です。この時は既に岩尾会員の存在を知って5年は経っておりますし、今もその時の姿をよく覚えております。とても長いお付き合いです。

次は1975年私は24歳です。この間に私にとりましては激動の時代だったのですが、12年はやはり長く私はその前年に結婚し東京都町田市に暮らし、12月に第一子を産んでおります。

次は1987年。36歳ですで大分に戻り実家の病院で薬剤師として働いておりました。このころはまだ大分は医薬分業が進んでおらず院内処方でした。

まだまだ医者も病院も元気で、私の知っている一番良い時期であったように思います。多分この後くらいに、当時福田会計事務所勤務に勤務なさっていました佐藤憲幸会員と知り合ったと思います。

四回目の卯年は1999年。夫が1991年に椎込にクリニックを開業して8年目です。私は同級生の永富調剤薬局にやはり午前中のみですが勤務して7年目くらいであったと思います。このころは調剤薬局も市内に沢山でき、私も薬剤師として求められることが増え、自分の勉強不足を思い知った時期でもあります。

長男は医大に進学しちょうど医師になったころだと思います。末っ子も大学進学で上京し、私は少し方向転換して自分の世界を持ちたいと悩んでいたのもこのころだと思います。この時期、安東会員は薬剤師会の仕事に進進されており、私は舞鶴の同級生としてご挨拶を交わしたと思います。

次は2011年還暦の年です。ついこの前だったような感覚ですが、この年は、忘れもしない東日本大震災のあった年です。日本中がこの年を境に暗いニュースが増えたようなそんな年に還暦を迎えました。看病をしておりました義理の母を見送った年でもあります。母校舞鶴の還暦同窓会を計画し岩尾会員も私も幹事でしたが、その時初めて衛藤会員と知り合うことができました。その2年後に私は城西ロータリークラブに入会し、そうしてその後衛藤会員も安東会員も入会なさって今に至っております。

72年間は長い長い道のりでしたが、過ぎてしまえばあつという間でございます。私は戦争が終わって生まれ、高度成長の元気な日本に生き、そして一まわりまわって還暦の時に日本はどうなっていくのだろうという思いをいたしました。それから12年。パンデミックの世界も知りました。

また、こういう卓話の機会を頂き自分のこれまでを思い返してみました。ロータリーに入会して9年近い月日が流れました。

正直に申しますと、ロータリーの大きな柱、職業奉仕が私にとって一番の難題でございます。およそ20年間は薬剤師として働き今も伊東Kクリニックの一員としておりますが、いざ職業奉仕となると具体的なことがおぼろでございます。しかし、こうやって振り返りますと、私が社会に恩返しできることは医療を通じてしかないと思っております。今年は、職業奉仕をもっとしっかり学んで、自分にできることを探していきたいとそう考えております。皆様、どうぞご指導をよろしくお願い致します。